
国立駅南口駅前広場基本設計(案) 市民アンケート調査

集計結果

令和7年11月
国 立 市

1 アンケートの実施概要

(1) 実施目的	1
(2) 実施概要	1
・実施期間	
・対象	
・実施方法	
(3) 回答数	1

2 回答者属性

(1) 年齢層	2
(2) 在住・在学・在勤	3
(3) 日頃の国立駅の利用状況	4

3 集計結果

(1) 全体方針への共感	5
(2) 駅前広場利用への関心	6
(3) 完成した後の関わり方	7
(4) 基本設計(案)に関する自由記述	8

4 参考資料

(1) アンケート用紙	13
-------------------	----

1 アンケートの実施概要

(1) 実施目的

本アンケート調査は、令和6年度から実施している国立駅南口駅前広場基本設計業務の内容を、市民のみなさまに広く知っていただき、そのうえで日頃感じていることや考えを共有していただくこと、また多くの方にご参加いただくことで、本計画への関心や共感を深めることを目的とする。

(2) 実施概要

- ・ 実施期間

2025年9月19日(金)から2025年10月31日(金)まで

- ・ 対象

国立市在住・在学・在勤の方、国立駅前のまちづくりに関心のある方

- ・ 実施方法

WEBアンケート、アンケート用紙

アンケート用紙配布場所

公共施設等（国立市役所・旧国立駅舎・国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ・くにたち北市民プラザ・くにたち南市民プラザ・公民館・国立駅南口子育ち・子育て応援テラス・くにたち中央図書館・矢川プラス）

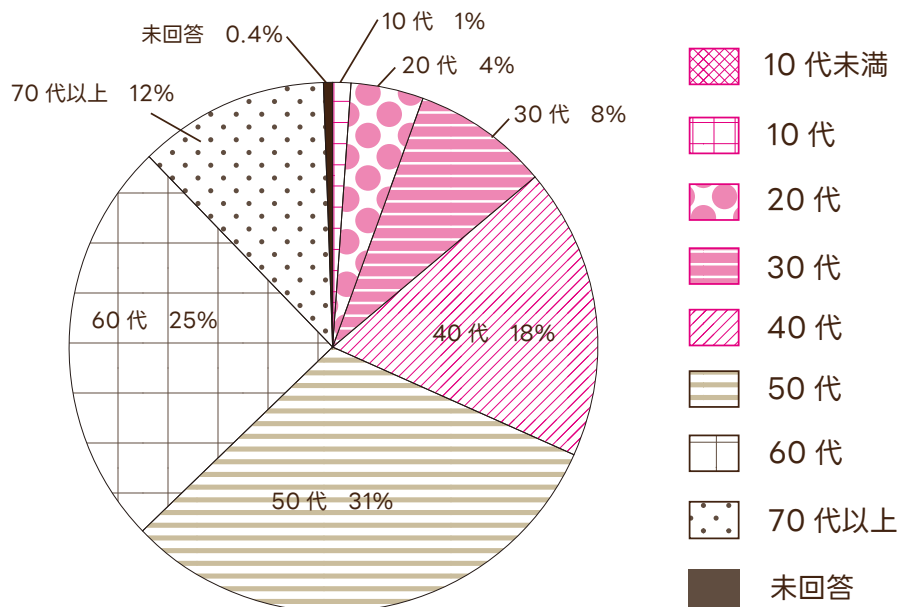
(3) 回答数

230件（WEB：227件、紙：3件）

2 回答者属性

(1) 年齢層

問1 年齢層を教えてください。(単一選択)

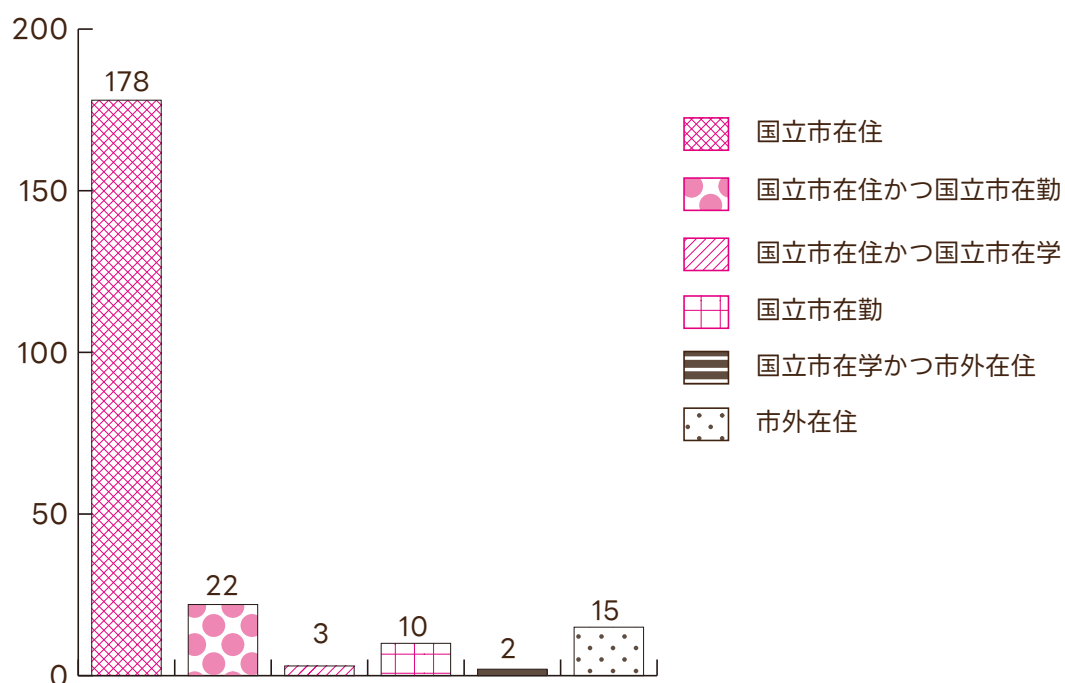


※1%未満を除き、小数点第一位を四捨五入しています。

アンケートに回答した年齢層は「50代」が最も多く(31%)、次いで「60代」(25%)、「40代」(18%)でした。他の年齢層では「10代」(1%)、「20代」(4%)、「30代」(8%)、「70代以上」(12%)という結果となりました。

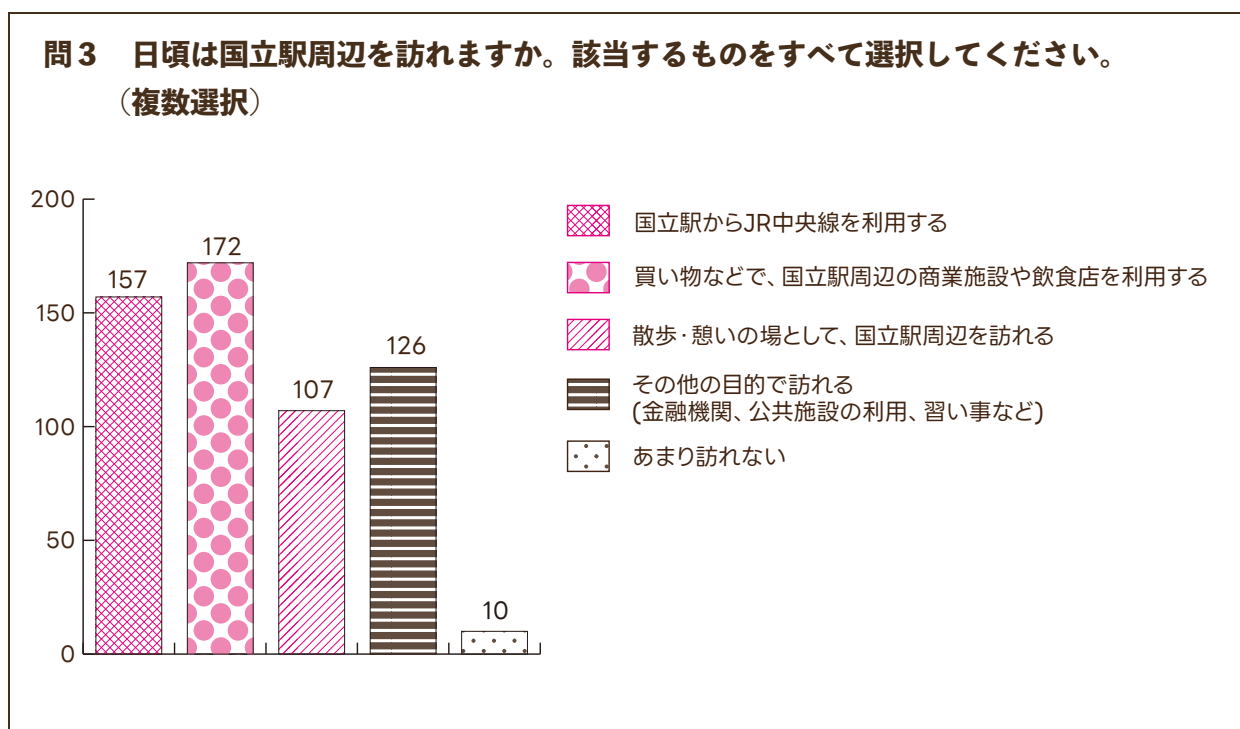
(2) 在住・在学・在勤

問2 在住、在学、在勤など次のうち、該当するものをすべて選択してください。
(複数選択)



回答者は「国立市在住」が最も多く（178件）、次いで「国立市在住かつ国立市在勤」（22件）、「国立市在住かつ国立市在学」（3件）、「国立市在勤」（10件）でした。市街では「市外在住」（15件）で、「国立市在学かつ市外在住」（2件）という結果となり、ご回答いただいた多くの方が、国立市在住という結果になりました。

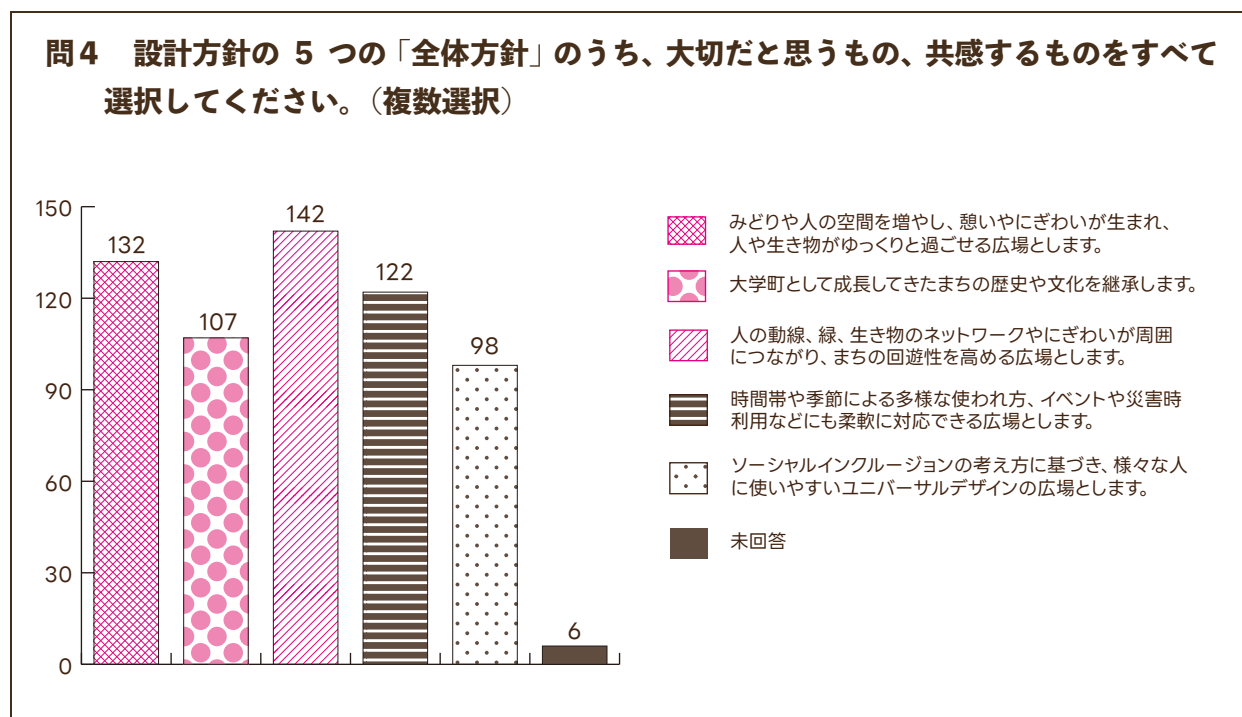
(3) 日頃の国立駅の利用状況



回答数は「買い物などで、国立駅周辺の商業施設や飲食店を利用する」人が最も多く(172件)、次いで「国立駅からJR中央線を利用する」(157件)、「散歩・憩いの場として、国立駅周辺を訪れる」(107件)、「その他の目的で訪れる(金融機関、公共施設の利用、習い事など)」(126件)という結果となりました。

3 集計結果

(1) 全体方針への共感

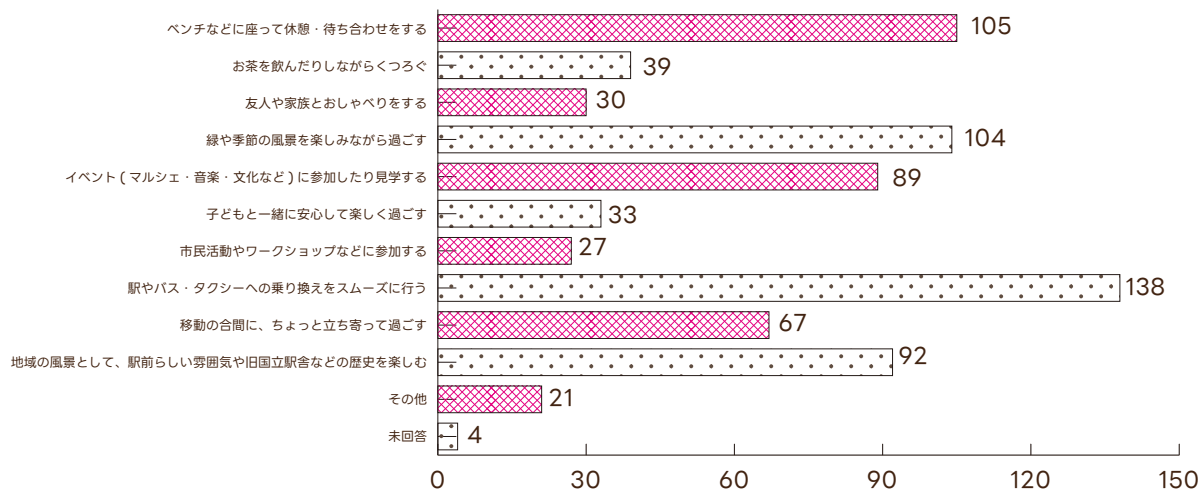


設計方針の5つの「全体方針」について共感するものについては「人の動線、緑、生き物のネットワークやにぎわいが周囲につながり、まちの回遊性を高める広場とします。」が最も多く(142件)、次いで「みどりや人の空間を増やし、憩いやにぎわいが生まれ、人や生き物がゆっくりと過ごせる広場とします。」(132件)、「時間帯や季節による多様な使われ方、イベントや災害時利用などにも柔軟に対応できる広場とします。」(122件)、「大学町として成長してきたまちの歴史や文化を継承します。」(107件)、「ソーシャルインクルージョンの考え方にに基づき、様々な人に使いやすいユニバーサルデザインの広場とします。」(98件)という結果となりました。

全体方針については、回答数に多少の差があるものの、5つの全体方針に大きな偏りなく、すべての項目に対して一定程度の共感が得られているものであることが確認できました。

(2) 駅前広場利用への関心

問5 駅前広場の利用方法について、どのようなことに関心がありますか？ (3つまで複数選択)



駅前広場利用への関心については、「駅やバス・タクシーへの乗り換えをスムーズに行う」が最も多く(138件)、次いで「ベンチなどに座って休憩・待ち合わせをする」(105件)、「緑や季節の風景を楽しみながら過ごす」(104件)ことがほぼ同数でした。以下降順に「地域の風景として、駅前らしい雰囲気や旧国立駅舎などの歴史を楽しむ」(92件)、「イベント(マルシェ・音楽・文化など)に参加したり見学する」(89件)、「移動の合間に、ちょっと立ち寄って過ごす」(67件)、「お茶を飲んだりしながらくつろぐ」(39件)、「子どもと一緒に安心して楽しく過ごす」(33件)、「友人や家族とおしゃべりをする」(30件)、「市民活動やワークショップなどに参加する」(27件)という結果となりました。

交通に関する利用方法への関心が最も多かったものの、人の居場所としての利用方法についても一定程度の関心があることが確認でき、両者のバランスが重要であることが伺えました。

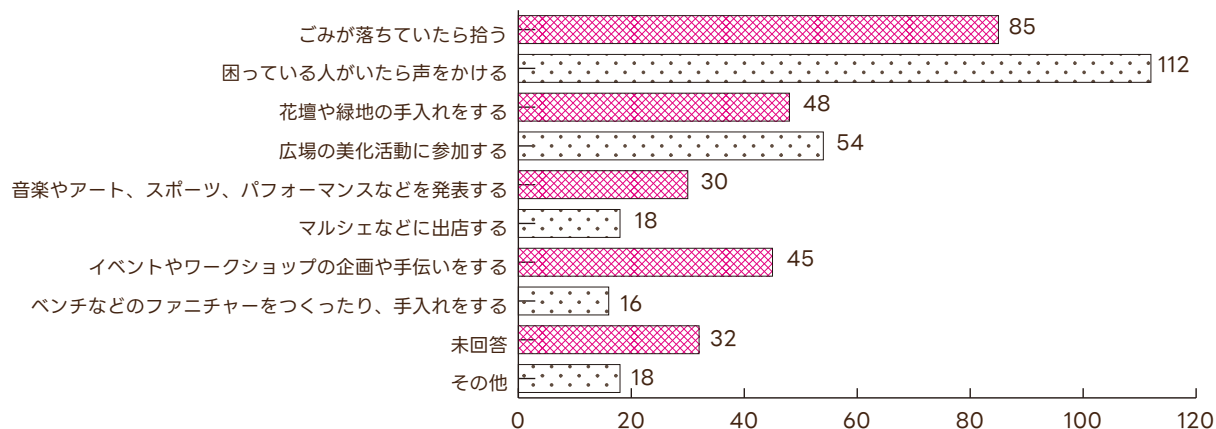
[その他の内容(一部抜粋※)]

- ・トイレを利用する
- ・非常時・災害時に頼りになる施設や設備が整っていること。特に平日の日中に学校に通う子供たちが多いことを念頭に備えておく必要を感じます。
- ・雨の日に家族を自家用車で送迎する
- ・毎日の生活のなかで、誰もがスムーズに過ごす(自転車、車、歩行者などなど)
- ・買い物や必要なことをやる
- ・毎日(雨天以外)誰でも参加できるラジオ体操や太極拳、あるいは立ったままできる15分ヨガ等を開催してほしい。毎日あることで市民の健康維持だけでなく、そこでコミュニケーションが生まれると思います。

※利用方法に関するもののみを抜粋しています。

(3) 完成した後の関わり方

問6 新しい駅前広場が完成したら、新しい広場づくりに、どのような形で関わってみたいと思いますか？（3つまで複数選択）



新しい駅前広場が完成したら、新しい広場づくりに、どのような形で関わってみたいと思うかについては、「困っている人がいたら声をかける」が最も多く(112件)、以下降順に「ごみが落ちていたら拾う」(85件)、「広場の美化活動に参加する」(54件)、「花壇や緑地の手入れをする」(48件)、「イベントやワークショップの企画や手伝いをする」(45件)、「音楽やアート、スポーツ、パフォーマンスなどを発表する」(30件)、「マルシェなどに出店する」(18件)、「ベンチなどのファニチャーをつくったり、手入れをする」(16件)という結果となりました。

困っている人への声かけやごみが落ちていたら拾うなどが多い結果となりましたが、マルシェへの出店や、イベントやワークショップの企画や手伝い、ファニチャーをつくったり手入れをすることについてもニーズがあることが確認でき、市民ワークショップなどを通じて、今後の広場の活用方法検討に活かしていきます。

[その他の内容（一部抜粋※）]

- ・非常時・災害時のことも想定した楽しみながらいざというときに対応できる備えを組み込んだイベントの企画や実施に協力する用意があります。
- ・学生が 地元にお金を落としていてもらえるように
- ・サイクルステーションとして活用。
- ・ユニバーサル的なイベントを企画して、街の人たちと楽しむ場所にしたい
- ・ペット連れの支援。買物、飲食等で店に入れるよう一時預り、散歩代行などが検討されれば登録等をして参加したい。
- ・快適に過ごす
- ・もっと出かけてみる
- ・友人の誰かが何かをすることがあればお手伝いする
- ・マルシェを積極的に利用する

※関わり方に関するもののみを抜粋しています。

(4) 基本設計(案)に関する自由記述

問7 国立駅南口駅前広場の将来の活用や基本設計(案)について、継続検討中の箇所（トイレ・倉庫・屋根の有無）を含めて、ご意見や期待することがあれば、ご自由にお書きください(自由記述)。

ご意見につきましては、テーマごとに分類し、抜粋してご紹介いたします。なお、1つのご意見に複数のテーマが含まれている場合は、分解のうえ集計しております。

記載していないご意見も含め、今回お寄せいただいたご意見の傾向を踏まえつつ、基本設計(案)の検討を進めてまいります。

● 計画全般に関すること

1. ロータリー、大学通りの車線削減による渋滞・事故が懸念される

52 件

- ・ロータリーの1車線化はラッシュ時の渋滞が発生しそう
- ・現状でも渋滞が激しいのに、1車線にするのはより渋滞が激しくなり、駅前の渋滞が増幅され危険になるかと思います。
- ・車線を減らすのは事故や渋滞を招くおそれがあり、ひいては近辺の市民への影響も大きいので再検討を望みます
- ・ロータリーを1車線にするのは実証実験をすれば分かると思いますが、混雑が激しくなり危険です。
- ・大学通りは国立市内南北に渡る唯一の主要道路です。救急車が混雑時緊急で通過し辛くなり人命に関わります。
- ・路上駐車による渋滞や合流による事故発生の懸念があるため、大学通りは片道2車線のままとしていただきたいです。

2. 自家用車の送迎スペースを確保してほしい

31 件

- ・国立駅には家族の送迎や買い物などの市民の自家用車も多く通ります。
- ・駅や広場に車で送迎する際、一般車の一時停止乗降するスペースを決めて欲しい。
- ・自家用車で、家族を駅まで送迎した時に、利用できる場所を、分かりやすく設置して欲しいです。
- ・現実的に高齢者や体の不自由な人を駅まで搬送するのは一般的に自家用車である。
- ・現状、禁止されていても、ロータリー内に不規則に停車する状況が見受けられ、交通が混乱しています。

3. 計画は実用性や費用対効果を重視し、市民の日常利用を最優先すべき

17 件

- ・使いやすさや、費用対効果を重視して欲しいです。
- ・駅としての日々の使い勝手に主眼を置くべきではないか。

- ・駅前広場の一番の目的は、鉄道や周辺施設を利用する人がスムーズに移動出来ることだと思います。
- ・学生や社会人にとっては利便性の方が重要です。

4. 自転車の動線と駐輪場を確保し、利用環境を改善してほしい

11 件

- ・自転車が歩行者を邪魔しながら走っていることがあるので、自然と自転車を降りて押して歩くような工夫をしてほしい。
- ・自転車走行を禁じるのは現実的ではない。今も歩道等走行を禁じてもほとんど守られていない。
- ・駅前のお店に行く際、自転車をとめることができないのが不便です。

● トイレに関すること

5. 設置費用や治安・衛生面が心配であり、トイレは不要

36 件

- ・駅前は色々な公共施設や商業施設があるので、設備やトイレなどは維持費もかかるのでそこまでは必要ないのではないかな？
- ・トイレは駅周辺に他にもあり、またまちの価値向上につながるとは思えません。
- ・トイレは、衛生面と治安悪化に懸念があるため広場への設置は断固反対である。

6. 災害時等にも使えるよう、トイレの設置は必要

28 件

- ・トイレは、絶対必要
- ・多機能トイレはあると良いけど、従来の引き戸ではなく、入り口が見えないような配慮があると良いかなと思いました。
- ・トイレはミニマムで、災害時に対応しただれでもトイレを 2 個ほど設置してはいかがでしょうか？

● 屋根・倉庫の設置に関すること

7. 待機・休憩のために降雨・日差しを避けられる屋根がほしい

14 件

- ・今年の夏のように暑い日には、暑さ対策が、必須だと思います
- ・夏は屋根がなくて暑いので、樹木で日陰を作ったり、天気によって、しまえるパラソルなど活用して涼しく過ごせる場所や雨の時に避難できるところがあると良い(特に車椅子ユーザーは突如の雨などでレインコートを着用するのに時間がかかるため)、雨宿りできる場所が必要です。
- ・雨が凌げる屋根のある場所がほしいです。

8. 駅舎からタクシー乗り場までなどの動線上に、屋根を設置してほしい

6 件

- ・雨に濡れない屋根及び日陰になる屋根を設置して欲しい。特に駅から自転車置場までや、駅から西友まで。今は人にやさしくない。
- ・車椅子利用者が JR 降車後送迎車までの導線に屋根の設置を望みます。
- ・駅舎からタクシー乗降場まで屋根を設置することは可能でしょうか。

9. イベントや災害に備えて、倉庫があると良い

6 件

- ・イベント用倉庫とちょっとした事務スペースがあると便利ですね。
- ・倉庫についてはどのようなものを収納するものになるか検討のうえ設置の是非をご検討ください。
- ・大震災に備えて倉庫については災害時に必要な資材等を収納できるような施設も併せて造れば良い

10. 屋根のデザインに関する提案

5 件

- ・万博の大屋根リングのような屋根があり上に乗れると桜の季節にはフォトスポットになりそう
- ・屋根は藤などが楽しめるパーゴラでも素敵かもしれません

11. 屋根や建築物は不要

5 件

- ・屋根を含め、建築物は一切要らない
- ・雨天時などでは必要かもしれませんが敷地の広さが限られているので屋根を設置すると開放感が失われると思います

● 円形公園に関すること

12. 円形公園は現状維持や動線確保を望む

13 件

- ・現状の広場が開放的で、使い勝手も良く、今のままで良いと思います。
- ・歩行者が出入りしにくい円形公園を予算をかけて整備する必要性も感じません。
- ・円形公園については眺めるだけの、見守ってくれる場所のままにしておいて欲しいです。

13. 円形公園に日常的に行き来ができると良い

2 件

- ・常に円形公園に行けるようにして欲しいです。

● 広場の利用に関すること

14. 広場は大規模なイベント利用よりも日常利用を重視してほしい

20 件

- ・やたらに人が集まるのは本来の目的とは異なり、迷惑です。
- ・マルシェや空間や悪くはないが、駅の機能をしっかりと先に考え、キープすべきエリアを確保してから、考えるべきである。
- ・年に数回開催されるイベントのためのスペース広場としておくことは、望まない。
- ・住民としては国立駅は通勤通学のための生活駅なのでそこでのイベントは特に求めてないです。

15. 広場で盆踊りやイベントができると良い

3 件

- ・円形公園で盆踊りが出来るの賛成です
- ・一橋大学学生によるイベントを企画したりして欲しいです。

● 緑や水に関すること

16. 緑や水辺を大切にしてほしい

14 件

- ・ハケの上のため難しいが、緑があるのなら、池などの水辺があるのも、よいと思う。
- ・文教地区の国立に、なんだから、緑のある豊かにして欲しいです。
- ・大学通り同様に緑の木々や植栽を適度に配置して「緑の町」のイメージを駅前から感じられる落ち着いた自然に優しい広場にしたい。
- ・国立市は「水と緑の癒しの空間」を作るというコンセプトで動いて頂くことを切に願います。

17. 緑や水辺は良いが、管理や生き物との共生は慎重に考えてほしい

12 件

- ・樹木は管理も必要になる。
- ・落葉を掃除するにも人手や機材が必要で市民ボランティア人口も減る少子高齢化で対応が可能なのか。
- ・開発された駅前で生き物が生活しているのは自然ではないと思います。
- ・緑豊かな街には大賛成ですが、生き物との共生は、棲み分けが必要だと思います。

18. 移動式ではなく、地植えの本物の緑が望ましい

4 件

- ・移動式植栽は便利ではあるけど、味気なさ是否めない。
- ・「可動式植栽」は貧相かなと思いました。しっかり根を張った大きな木を育ててほしいです。

● ユニバーサルデザインに関すること

19. ユニバーサルデザインや広場の治安確保に配慮した設計にしてほしい

15 件

- ・車椅子、ベビーカー、杖などを使う人に使いやすく、バス運転手さんの手間のかからないように工夫ください。
- ・夜中に大声で叫んでいる方や、二次会の場所にならないようにしたい。
- ・夜、国立駅から女性1人でも安心して帰ることのできる安全な街づくりを望む。
- ・子どもや学生さん達が安心して使える場所であって欲しい。

● 文化や歴史の尊重に関すること

20. 国立の歴史・景観・文化的な側面を大切にしてほしい

15 件

- ・街の、駅前の雰囲気にあったデザインであること、普段から非常時のことを想定して使い方に慣れておくようにすることが必要と考えます。
- ・文化や芸術を大切にしたい。
- ・国立市の外に向けた顔でもあり、市民にとってのハレの場所でもある。

● 計画の進め方に関すること

21. プロセスは透明性を保ち、多様な市民意見や関係者との調整を継続してほしい

13 件

- ・63 年住んでいますがこれからの時代を見据えて駅前が整備される事は嬉しいです。出来るだけ早く仕上がる事をよろしくお願いします。
- ・税金がかかる事、今後もっと時間をかけ、平日でなく土日に、市民の意見をもっと何回も聞く機会を設け、作るのを急がず、もっと吟味してから決めてほしい。

4 参考資料

(1) アンケート用紙

国立駅南口駅前広場基本設計(案) 市民アンケート

国立駅南口駅前広場は、市民の皆様が日常的に利用する大切な場所であり、まちの顔となる空間です。これまで、市では市民アンケートや駅前報告会、ワークショップ(くにたちえきひろ大学)、社会実験を通じて、皆様からのご意見を伺いながら基本設計案をまとめてきました。

このアンケートは、基本設計(案)について市民の皆様から広くご意見をいただきながら国立駅南口駅前広場整備の取り組みを進めることを目的とし、実施しております。回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

1| 年齢層を教えてください。(単一選択)

☐10代未満 ☐10代 ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代 ☐70代以上

2| 在住、在学、在勤など次のうち、該当するものをすべて選択してください。(複数選択)

☐ 国立市在住
☐ 市外在住
☐ 国立市在学
☐ 国立市在勤

3| 日頃は国立駅周辺を訪れますか。該当するものをすべて選択してください。(複数選択)

☐ 国立駅からJR中央線を利用する
☐ 買い物などで、国立駅周辺の商業施設や飲食店を利用する
☐ 散歩・憩いの場として、国立駅周辺を訪れる
☐ その他の目的で訪れる(金融機関、公共施設の利用、習い事など)
☐ あまり訪れない

4| 設計方針の5つの「全体方針」のうち、大切だと思うもの、共感するものをすべて選択してください。
(複数選択)

☐ みどりや人の空間を増やし、憩いやにぎわいが生まれ、人や生き物がゆっくりと過ごせる広場とします。
☐ 大学町として成長してきたまちの歴史や文化を継承します。
☐ 人の動線、緑、生き物のネットワークやにぎわいが周囲につながり、まちの回遊性を高める広場とします。
☐ 時間帯や季節による多様な使われ方、イベントや災害時利用などにも柔軟に対応できる広場とします。
☐ ソーシャルインクルージョンの考え方にに基づき、様々な人に使いやすいユニバーサルデザインの広場とします。

5| 駅前広場の利用方法について、どのようなことに関心がありますか？ (3つまで複数選択)

- ☐ ベンチなどに座って休憩・待ち合わせをする
- ☐ お茶を飲んだりしながらくつろぐ
- ☐ 友人や家族とおしゃべりをする
- ☐ 緑や季節の風景を楽しみながら過ごす
- ☐ イベント(マルシェ・音楽・文化など)に参加したり見学する
- ☐ 子どもと一緒に安心して楽しく過ごす
- ☐ 市民活動やワークショップなどに参加する
- ☐ 駅やバス・タクシーへの乗り換えをスムーズに行う
- ☐ 移動の合間に、ちょっと立ち寄って過ごす
- ☐ 地域の風景として、駅前らしい雰囲気や旧国立駅舎などの歴史を楽しむ
- ☐ その他:()

6| 新しい駅前広場が完成したら、新しい広場づくりに、どのような形で関わってみたいと思いますか？
(3つまで複数選択)

- ☐ ごみが落ちていたら拾う
- ☐ 困っている人がいたら声をかける
- ☐ 花壇や緑地の手入れをする
- ☐ 広場の美化活動に参加する
- ☐ 音楽やアート、スポーツ、パフォーマンスなどを発表する
- ☐ マルシェなどに出店する
- ☐ イベントやワークショップの企画や手伝いをする
- ☐ ベンチなどのファニチャーをつくったり、手入れをする
- ☐ その他:()

7| 国立駅南口駅前広場の将来の活用や基本設計(案)について、継続検討中の箇所(トイレ・倉庫・屋根の有無)を含めて、ご意見や期待することがあれば、ご自由にお書きください(自由記述)。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

● 提出方法	国立駅周辺整備課国立駅周辺整備担当へ持参もしくは郵送※にて提出 ※郵送料はご負担ください。
● 提出期限	10月31日(金) 必着
● 問い合わせ・提出先	国立駅周辺整備課国立駅周辺整備担当(国立市役所3階54番窓口) 住所:〒186-8501 国立市富士見台2-47-1 電話:042-576-2111(内線382)